

明太祖皇帝十四世玄孫 純是軒
曾我九近次郎輝雄
入道 曾我 画

企画展

曾我蕭白

そが
しょうはく

鳥獣画の探究

2014年

8月23日土 — 10月13日月祝

※作品保護のため、一部展示替えがあります。

前期 8月23日(土)～9月15日(月・祝) 後期 9月17日(水)～10月13日(月・祝)

【開館】午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで) 【休館日】9月16日(火)

【観覧料】一般 800(600)円 / 大高生 500(400)円

中学生以下無料 (内は特別割引、及び20名以上の団体料金)

【主催】公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社 【協力】三重県立美術館



3.



2.



4.

1.



香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

曾我蕭白

そが
しょうはく

鳥獣画の探究

京都に生まれた曾我蕭白（七三〇～八二）の生涯は不明な点が多いのですが、十代のころより画業で身を立てることを目指して学んでいたことがわかっています。室町時代の画家・曾我蛇足（じやうそく）に私淑して「蛇足軒」と号し、また桃山時代に活躍した蛇足の後継者・曾我直庵（ちやうあん）や二直庵らが受け継いだ、濃墨を用いて荒々しい筆致で樹木や岩をデフォルメして描く作風の影響が見られます。その室町水墨画に学んだ個性的な表現は、伊藤若冲（じやうしゅう）、長沢芦雪（ろせつ）とともに、「奇想の画家」として知られています。

蕭白の作品は、制作時期のわかるものは少ないといわれていますが、伊勢（三重）に二度、播磨（兵庫）に二度滞在したことがわかっており、それぞれの地に逸話や作品が遺されています。

本展では、曾我蕭白の画業を知る上で大変重要な伊勢地方での作品を中心に紹介します。鳥や獣などの表現に着目してご覧ください。



5. 「雪山童子図」1764年頃 継松寺蔵 前期



6. 「松に孔雀図」1767年頃 三重県立美術館蔵 後期



7. 重要文化財「松鷹図」1764年頃 三重県立美術館蔵 前期



8. 「牡丹図」江戸時代 18世紀 白鶴美術館蔵 前期



9. 「山水花鳥人物図押絵貼屏風」江戸時代 18世紀 石水博物館蔵 後期

関連イベント

講演会

「曾我蕭白の地方戦略」

日時：8月24日(日) 13:00～

講師：毛利伊知郎氏（三重県立美術館 館長）

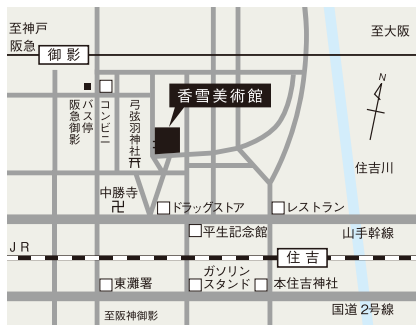
定員：先着50名。当日午前11時より整理券を配布します。

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日 14:00～

学芸員によるギャラリートークを行います。

※講演会、ギャラリートークの聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。



- 表面：1. 「鷹図」1764-67年頃 香雪美術館蔵 通期
2. 「洋犬図」(部分) 1767年頃 個人蔵 後期
3. 重要文化財「猿図杉戸」(部分)
江戸時代 18世紀 朝田寺蔵 後期
4. 「雪山童子図」(部分) 1764年頃 継松寺蔵 前期

・阪急「御影」駅より東南へ徒歩5分
・JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分
・阪神「御影」駅より市バス19系統「阪急御影」下車徒歩5分

香雪美術館

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家 2丁目12-1

Tel. 078-841-0652

<http://www.kosetsu-museum.or.jp>